

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 岐阜県「ミナレク運動」推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 ねんりんピック推進事務局 式典事業・レクリエーション係 電話番号：058-272-1111(内2663)

E-mail：c11175@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 72,054 千円 (前年度予算額：70,004 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	70,004	26,567	0	0	0	0	0	0	43,437
要求額	72,054	27,592	0	0	0	0	0	0	44,462
決定額	72,054	27,592	0	0	0	0	0	0	44,462

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

「第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜」の成果を未来に繋げ発展させるため、県民皆が1つはレクリエーションを実践する「ミナレク運動」をさらに推進し「明るく健康で、笑顔あふれる岐阜県づくり」につなげる。

(2) 事業内容

- ①ぎふ清流レクリエーションフェスティバルの開催（16,758千円）
 - ・開催内容…5圏域レクイベント「ミナレク広場」
交流大会(旧種目大会)、市町村グラウンド・ゴルフ大会
市町村協賛イベント、関連イベント（eスポーツフェス等）
- ②レクリエーション推進団体の認定（111千円）
 - ・ミナレク運動の推進及び裾野拡大に向け、レクリエーションやスポーツに親しむための行動計画を作成し実践する団体・学校等を認定
- ③レクリエーションスポーツの全県的な普及拡大（55,185千円）
 - ・レクを通じた健康づくりの全県的な普及を図るため、指導者派遣による講習会を実施するほか、レクリエーションに携わる人材育成事業等を実施
 - ・ミナレク運動推進の支えとなる市町村レクリエーション協会の育成
 - ・ミナレク運動を県民に広く知ってもらうための情報発信事業

(3) 県負担・補助率の考え方

誰もが気軽にできる、レクリエーションスポーツは、スポーツを普及する有効な手段と位置付け、清流の国ぎふスポーツ推進計画において、成人のスポーツ実施率65%を目指しているところであり、県内各層への普及促進を図るうえで県の実施は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容		金額	事業内容の詳細
①ぎふ清流レクリエーションフェスティバルの開催	旅費	489	職員旅費
	消耗品費	200	事務消耗品
	燃料費	74	公用車ガソリン費
	役務費	100	通信運搬費
	負担金	15,895	実行委員会県負担金
小計①		16,758	
②レクリエーション推進団体の認定	旅費	37	職員旅費
	消耗品費	33	認定証用紙等
	役務費	8	通信運搬費
	使用料	33	認定会場借上げ料
小計②		111	
③レクリエーションスポーツの全県的普及	委託料	55,185	派遣指導者による講習会、市町村レク協会の育成、レク推進団体の活性化
小計③		55,185	
合計 (①～③)		72,054	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県清流の国スポーツ推進条例第9条
第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画

(2) 後年度の財政負担

ぎふ清流レクリエーションフェスティバルは、平成28年度に開催された「全国レクリエーション大会in岐阜」を引き継いだ大会として平成29年度より実施している。令和4年度以降は次期ねんりんピック開催につなげるイベントとして継続して実施する。

子どもから高齢者まであらゆる世代の県民が、多様なスタイルでスポーツやレクリエーションを楽しみ、生涯にわたり健康と生きがいを得ることを目的としており、継続して本事業を実施する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

県民が気軽に参加できるレクリエーション運動の普及を図るため、1日1回はレク指導者派遣の実施、年間のレク指導者派遣回数を365回とすることで、県内のいろいろな地域で、すべての県民がレクリエーションに触れる機会を創出し、レクリエーションを通じた健康づくりの取組みの普及拡大、定着を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標	
						達成率
①指導者派遣回数	219回	383回	365回	365回	365回 (R9)	124%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>令和2年7月 実行委員会総会（書面） 令和2年9月3日～令和3年2月14日 んご清流レクリエーションフェスティバル開催 んご清流レクリエーションフェスティバルは、地域のレク普及を促進させるため、5圏域での圏域イベント等を開催し、スポーツ・レクリエーションの普及に寄与した。 指導者派遣によるレクリエーションの講習会を実施するとともに、レクリエーション推進団体を計 563 団体（R2：145 団体）認定した。 ※令和2年までは別の指標（レクリエーション推進団体認定）を目標に掲げていたため、指標の記載なし</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____</p>
令和3年度	<p>令和3年9月28日～令和4年2月23日 んご清流レクリエーションフェスティバル開催 んご清流レクリエーションフェスティバルは、地域のレク普及を促進させるため、5圏域での圏域イベント等を開催し、スポーツ・レクリエーションの普及に寄与した。 指導者派遣によるレクリエーションの講習会（284回）やミナレク運動推進リーダーの養成（3回）及び市町村レク協会への研修会（2回）、レクリエーション推進団体の紹介（10回）を実施し、年度末までにレクリエーション推進団体を計 571 団体（R3：12 団体）認定した。</p> <p>指標① 目標： 255回 実績： 284回 達成率： 111 %</p>
令和4年度	<p>令和4年9月7日～令和5年2月25日 んご清流レクリエーションフェスティバル開催 んご清流レクリエーションフェスティバルは、地域のレク普及を促進させるため、5圏域での圏域イベント等を開催し、スポーツ・レクリエーションの普及に寄与した。 指導者派遣によるレクリエーションの講習会（383回）やミナレク運動推進リーダーの養成（5回）及び市町村レク協会への研修会（3回）、レクリエーション推進団体の紹介（2回）を実施し、年度末までにレクリエーション推進団体を計 584 団体（R4：24 団体）認定した。</p> <p>指標① 目標： 310回 実績： 383回 達成率： 124 %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>ぎふ清流レクリエーションフェスティバル、レクリエーション指導者派遣の拡大等を実施することで、県民がレクリエーション運動を行う機会が増え、健康維持や体力向上、更にはスポーツ実施率の向上に繋がるため事業の必要性が高い。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 3	<p>ぎふ清流レクリエーションフェスティバルは、コロナ禍の中、感染拡大防止に配慮しながら5圏域での圏域イベント等を開催し、レクリエーションの普及拡大に期待以上の成果があった。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>ぎふ清流レクリエーションフェスティバル実行委員会は、県、県レクリエーション協会、市町、市町レクリエーション協会で構成する実行委員会形式をとっており、各方面と連携し、効率的な事業運営が図られている。</p>

(今後の課題)

(次年度の方向性)

<p>引き続き、県民の日常生活の中での「体、心、頭」の健康を増進し、誰もが健康寿命の延伸を図ることができる社会「明るく健康で笑顔あふれる岐阜県づくり」の実現に取り組む。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	<p>全国健康福祉祭開催準備事業 【ねんりんピック推進事務局】</p>
<p>組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など</p>	<p>レクリエーションの普及拡大と併せて、ねんりんピック岐阜大会のPRを行うことで、効率的に多くの幅広い世代の方に周知し、大会機運の醸成を図る。</p>